

ドーム型牛舎に補助の 考えは



久留松男議員

評であると聞く。このドーム型牛舎に取り込む考えはないか。

効果などを勉強して判断する

事業を進めているところである。この事業との関連もあるので、現在実施している制度の利用状況や効果を確認し、また実施している先進地の効果などを勉強し判断する。

町長

ドーム型牛舎は、一頭当たり十平方メートルの広さで、牛舎と運動場が一体になった構造の物とつい最近知った。

この牛舎の利点は、肉用牛農家が多頭肥育をする上で、朝夕の推肥管理の省力化が図られる点で、肉用牛の維持拡大ができると考えられている。

家畜排泄物処理法が平成十一年十一月から施行され、それに伴い、町でも平成十三年度から町単独による簡易推肥舎設置

畜産を取り巻く環境は厳しく、畜産農家も高齢化が進み、牛舎内のふん尿処理作業が悩みの種である。その点、牛舎を兼ねたドーム型牛舎は、ふん尿処理に手間がかからない。十頭以上の多頭飼育農家は、平成十六年三月末までに、推肥舎建設が家畜排泄物処理法で義務付けられているが、補助は、町単独簡易推肥舎設置事業のみである。

末吉町が推進しているドーム型牛舎は、ふん尿が自然乾燥し、労力が軽減され、特に高齢者に好



ドーム型牛舎内部と全景

